

# MBL

会社名 株式会社 医学生物学研究所  
 代表者名 代表取締役社長 山田 公政  
 (JASDAQ・コード4557)  
 問合せ先 取締役管理統括本部長 中井 邦彦  
 電話番号 052-238-1901

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年11月16日に公表した2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

2019年3月期通期業績予想の修正について

(1) 2019年3月期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,600	230	170	△61	△11.80
今回修正予想 (B)	8,100	400	420	160	30.94
増減額 (B - A)	500	170	250	221	
増減率 (%)	6.6	73.9	147.1	-	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	7,072	120	11	△59	△11.49

(2) 連結業績予想修正の理由

売上高は、国内市場においては、今期発売・保険収載された体外診断用医薬品2品目の販売が好調であること、また海外市場においては、中国子会社MBLによる中国臨床検査薬メーカーへの企業向けマテリアルが当初計画よりも順調に推移していることから、前回発表予想を5億円上回る81億円となる見通しです。

営業利益は、製品ポートフォリオの見直しによるたな卸資産の廃棄などにより原価率が上昇する見込みであるものの、売上伸長や販売費及び一般管理費の抑制等の効果により、前回発表予想を1億70百万円上回る4億円となる見通しです。

経常利益は、上記理由に加え当初計画よりも関係会社の業績が改善傾向にあること、及び為替レートが当初想定よりも円安に推移していることなどから、前回発表予想を2億50百万円上回る4億20百万円となる見通しです。

その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を2億21百万円上回る1億60百万円となる見通しです。

(3) 2019年3月期個別業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,300	百万円 180	百万円 △51	円 銭 △9.86
今回修正予想 (B)	6,700	300	△400	△77.36
増減額 (B - A)	400	120	△349	
増減率 (%)	6.3	66.7	-	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	6,158	3	△47	△9.16

(4) 個別業績予想修正の理由

売上高は、連結業績予想修正の理由に記載の通り、今期発売した体外診断用医薬品2品目の販売が好調であることなどから、前回発表予想を4億円上回る67億円となる見通しです。

経常利益は、連結業績予想修正の理由に記載の通り、たな卸資産の廃棄により原価率が上昇する見込みであるものの、売上伸長や販売費及び一般管理費の抑制等の効果、及び為替レートが当初想定よりも円安に推移していることなどから、前回発表予想を1億20百万円上回る3億円となる見通しです。

当期純利益は、関係会社株式評価損を4億61百万円\*計上することから、前回発表予想を3億49百万円下回る4億円の損失となる見通しです。

\*本日公表の「個別決算における特別損失計上に関するお知らせ」をご参照ください。

※本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上